

「地域活動・ボランティア活動に関する意識調査」 報告書の概要 No. 1

このアンケート調査は、地域活動・ボランティア活動に関する市民の意識や実態を把握し、千葉市の社会教育施設などにおける講座の企画立案やプログラムの改善などに活かすことで、まちづくりを含む社会貢献活動の推進及び支援の充実を図ることを目的とするものです。

ご協力いただきました市民の皆様、及びご指導をいただきました関係各位に深く感謝し、お礼を申し上げます。

令和3年3月

千葉市生涯学習センター 所長 遠藤 悟

1. 調査方法

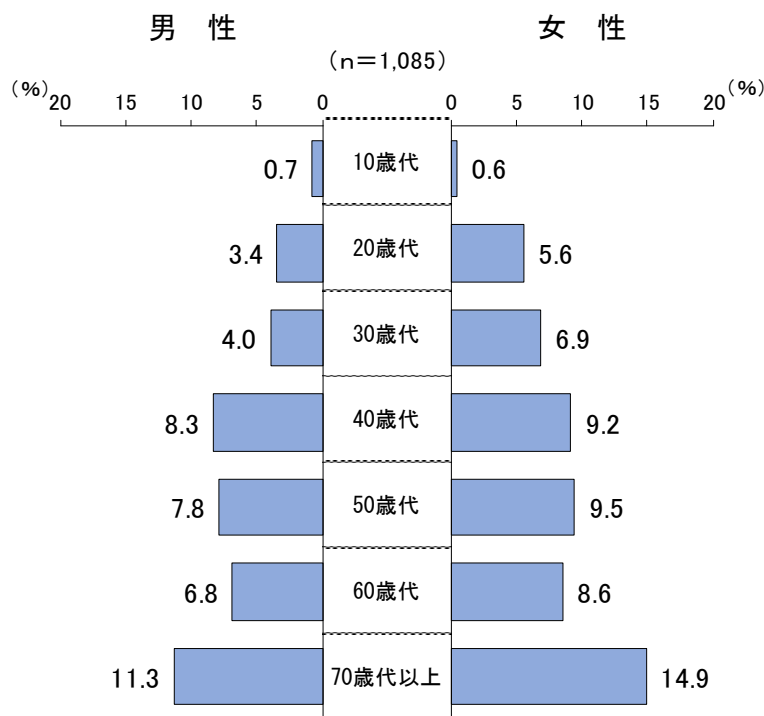
- (1) 調査対象：千葉市在住の18歳以上の方、2,500人を無作為に抽出
- (2) 調査方法：郵送による発送・回収
- (3) 調査期間：令和2年9月17日～10月16日
- (4) 有効回収数：1,085
- (5) 有効回収率：43.4%

✓注意事項

調査結果のコメントは、全体平均と比べて統計的に有意差のあるものを中心にふれている。なお、グラフの中で全体と比べ高い有意差のある数値は枠 で囲って表現している。

2. 回答者

●性・年代



※ その他：30歳代(0.1%)・60歳代(0.1%)、無回答(2.1%)

「地域活動・ボランティア活動に関する意識調査」 報告書の概要 No. 2

3. 要約

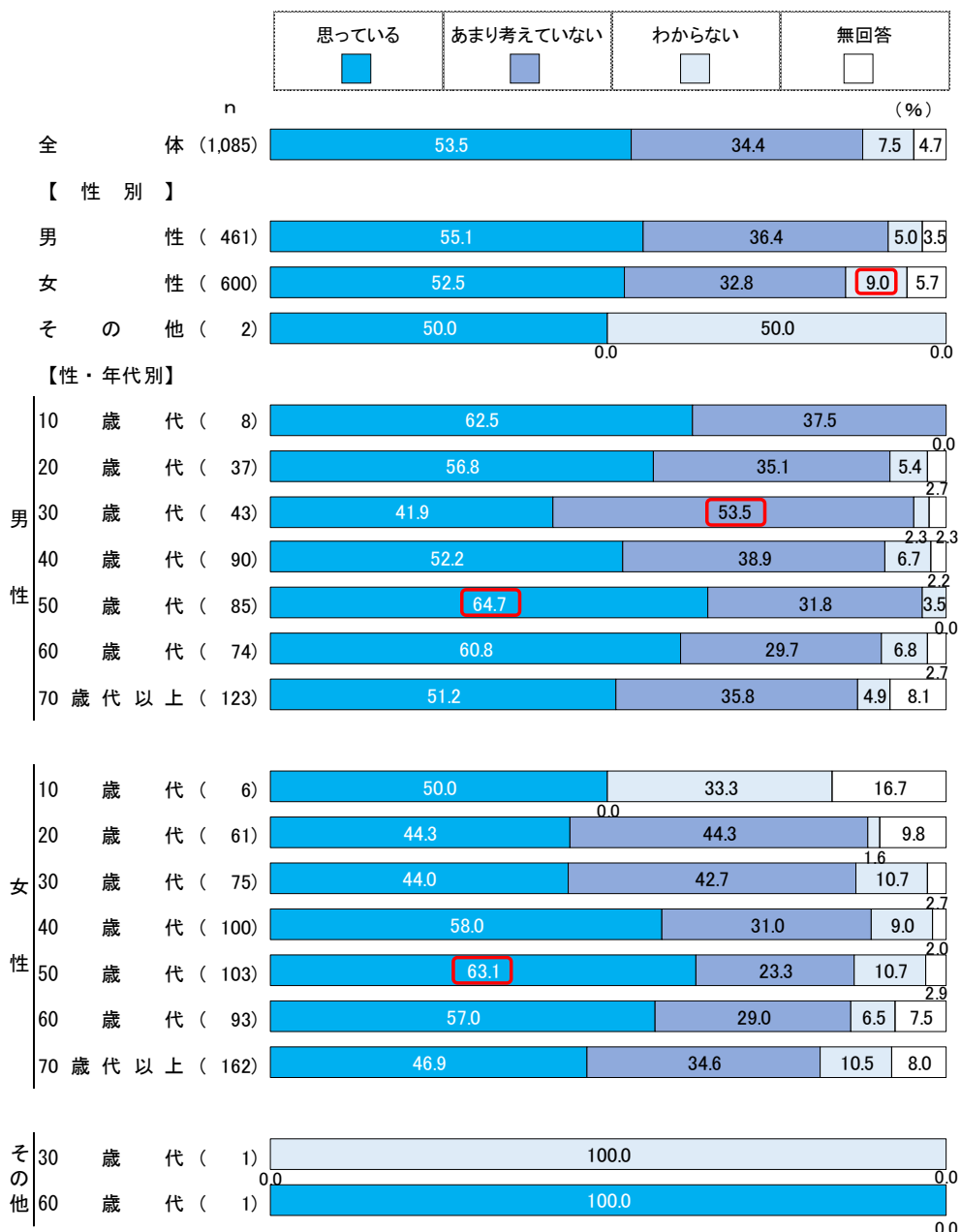
(1) 地域活動・ボランティア活動に対する意識について

① 社会貢献への意識【性別、性・年代別】

問 あなたは、日頃、社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っていますか。それとも、あまりそのようなことは考えていませんか。(単一回答)

性別で見ると、「思っている」は男性(55.1%)が女性(52.5%)より2.6ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「思っている」は男性50歳代で64.7%、女性50歳代で63.1%と高く、それぞれ有意差がみられた。「あまり考えていない」は男性30歳代で53.5%と高く、有意差が見られた。

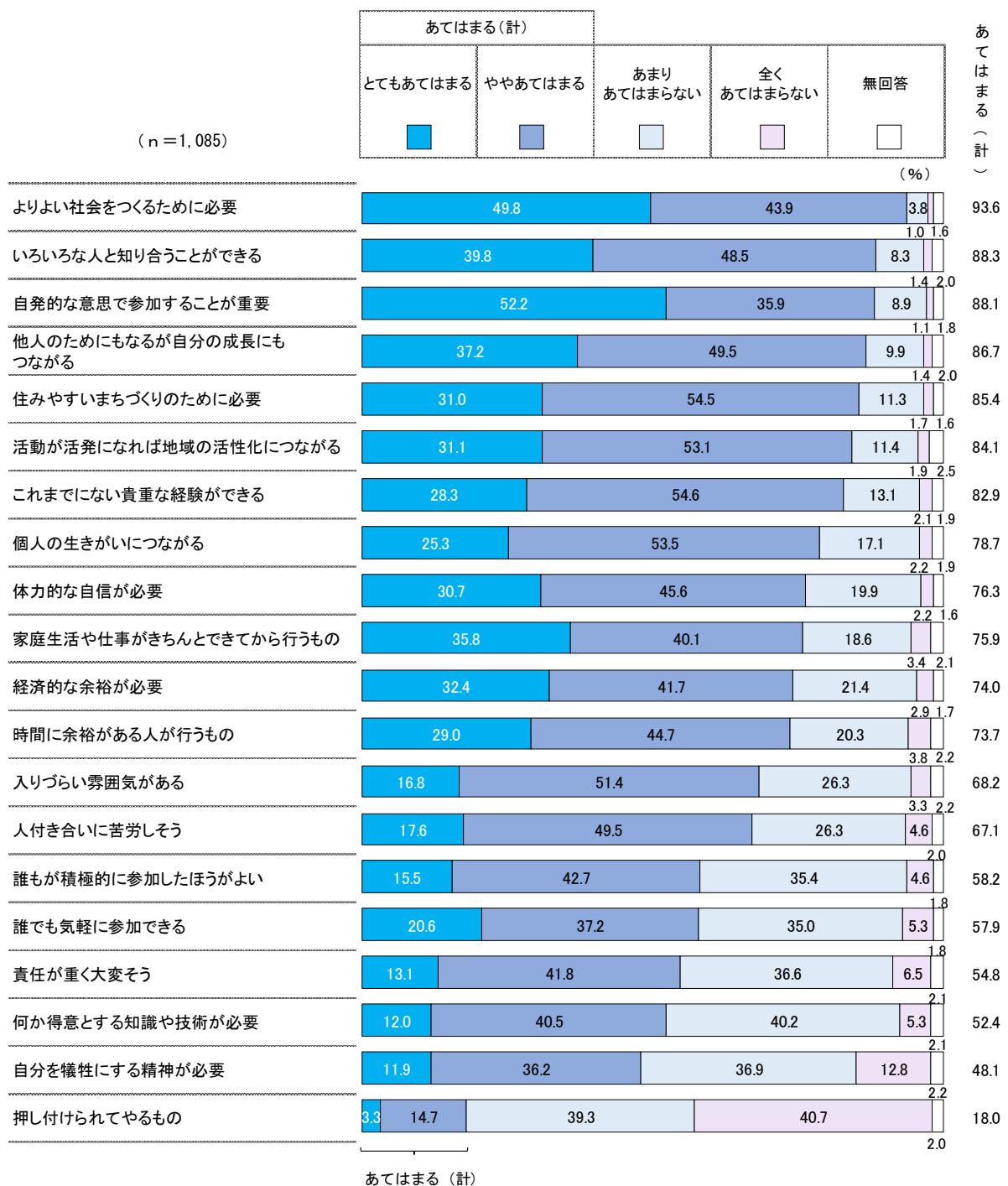


「地域活動・ボランティア活動に関する意識調査」 報告書の概要 No. 3

② 地域活動・ボランティア活動に対する考え【全体】

問 あなたは、地域活動・ボランティア活動（環境美化、高齢者福祉、まちづくりなど地域活性化、地域の安全、芸術・文化・スポーツなど）についてどのように考えますか。
（単一回答）

『あてはまる（計）』（「とてもあてはまる」と「ややあてはまる」の合計）は、「よりよい社会をつくるために必要」（93.6%）が最も高く、次いで「いろいろな人と知り合うことができる」（88.3%）、「自発的な意思で参加することが重要」（88.1%）が続いている。



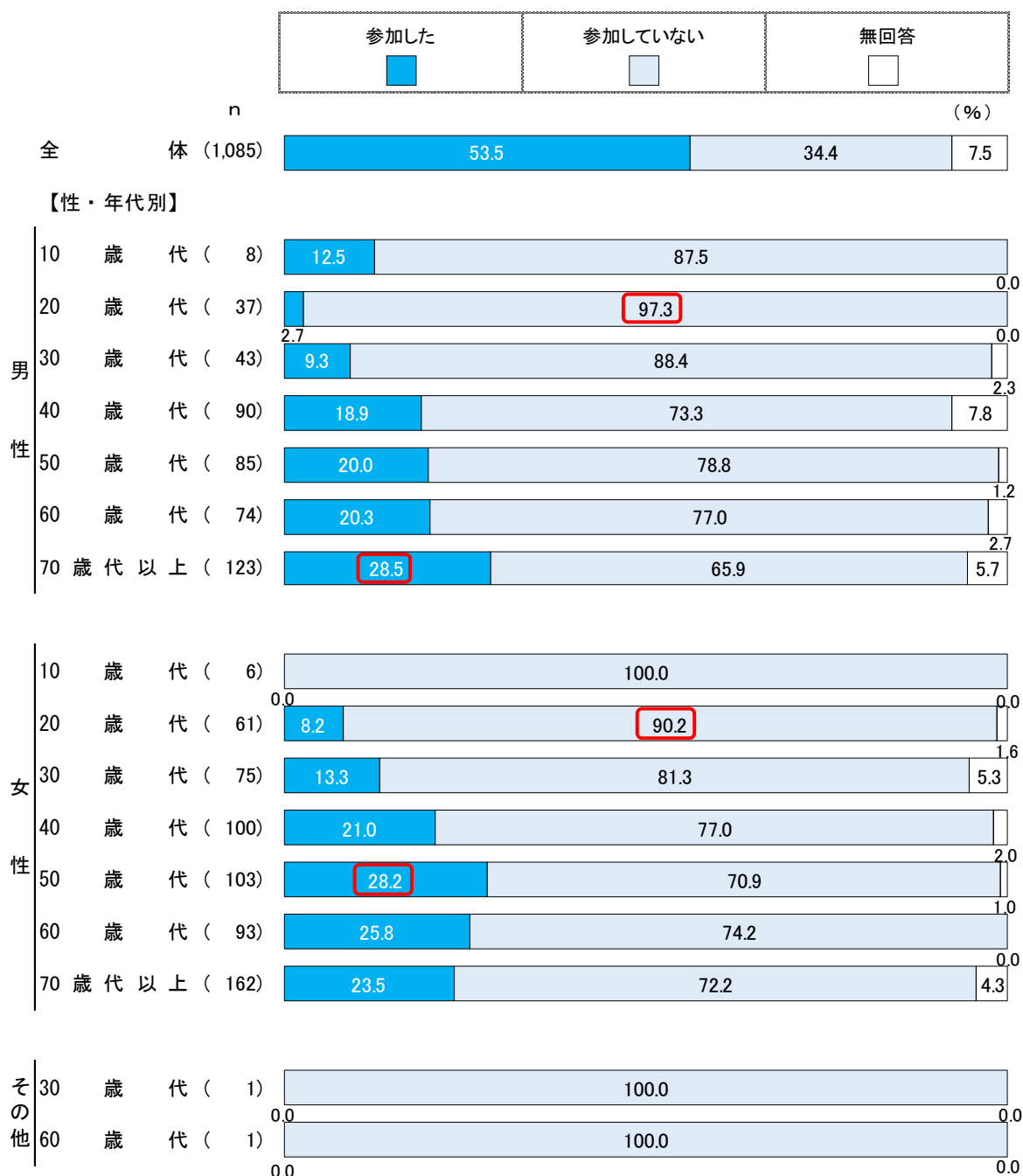
「地域活動・ボランティア活動に関する意識調査」 報告書の概要 No. 4

(2) 地域活動・ボランティア活動への参加について

① 活動への参加【性・年代別】

問 あなたは、この1年間に地域活動・ボランティア活動に参加しましたか。(単一回答)

性・年代別にみると、「参加した」は男性70歳代以上で28.5%と最も高く、次いで女性50歳代で28.2%と高く、それぞれ有意差がみられた。「参加していない」は男性20歳代で97.3%と最も高く、次いで女性20歳代で90.2%と高く、それぞれ有意差がみられた。

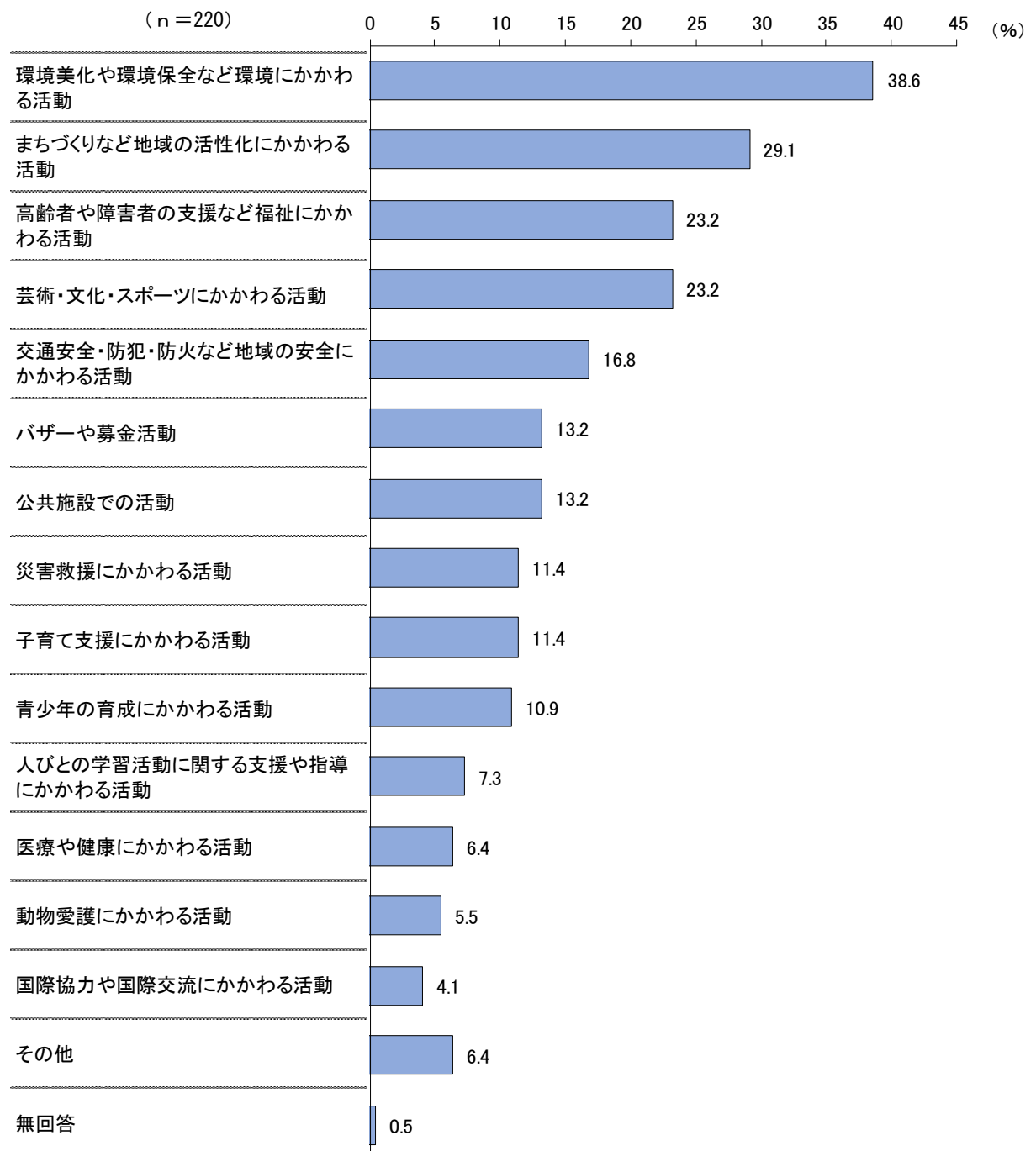


「地域活動・ボランティア活動に関する意識調査」 報告書の概要 No. 5

② 活動内容【全体】

問 ①活動への参加で「参加した」とお答えの方におたずねします。
あなたは、この1年間にどのような活動に参加しましたか。（複数回答）

この1年間に参加した活動内容は、「環境美化や環境保全など環境にかかわる活動」（38.6%）が最も高く、次いで「まちづくりなど地域の活性化にかかわる活動」（29.1%）、
「高齢者や障害者の支援など福祉にかかわる活動」、「芸術・文化・スポーツにかかわる活動」（ともに23.2%）と続いている。



「地域活動・ボランティア活動に関する意識調査」 報告書の概要 No. 6

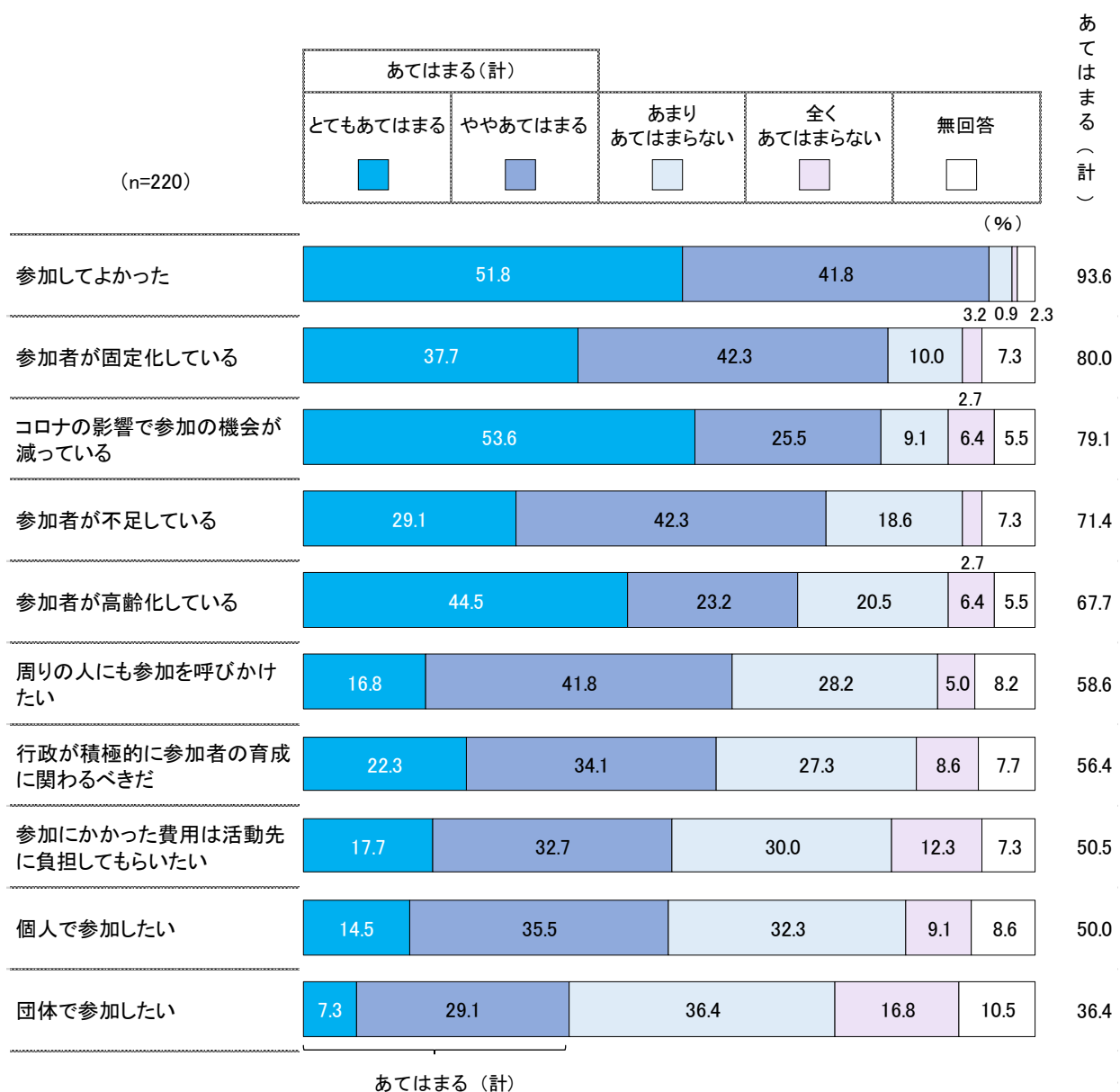
③ 参加を通じて感じたこと・課題【全体】

問 ①活動への参加で「参加した」とお答えの方におたずねします。

あなたが活動に参加したときに感じたことや課題について、あてはまるものを選んでください。複数の活動に参加している方は、直近で参加した活動についてお答えください。（単一回答）

『あてはまる（計）』（「とてもあてはまる」と「ややあてはまる」の合計）は、「参加してよかった」（93.6%）が最も高く、次いで「参加者が固定化している」（80.0%）、「コロナの影響で参加の機会が減っている」（79.1%）が続いている。

「とてもあてはまる」は「コロナの影響で参加の機会が減っている」（53.6%）と「参加してよかった」（51.8%）が過半数を超え、特に高い。



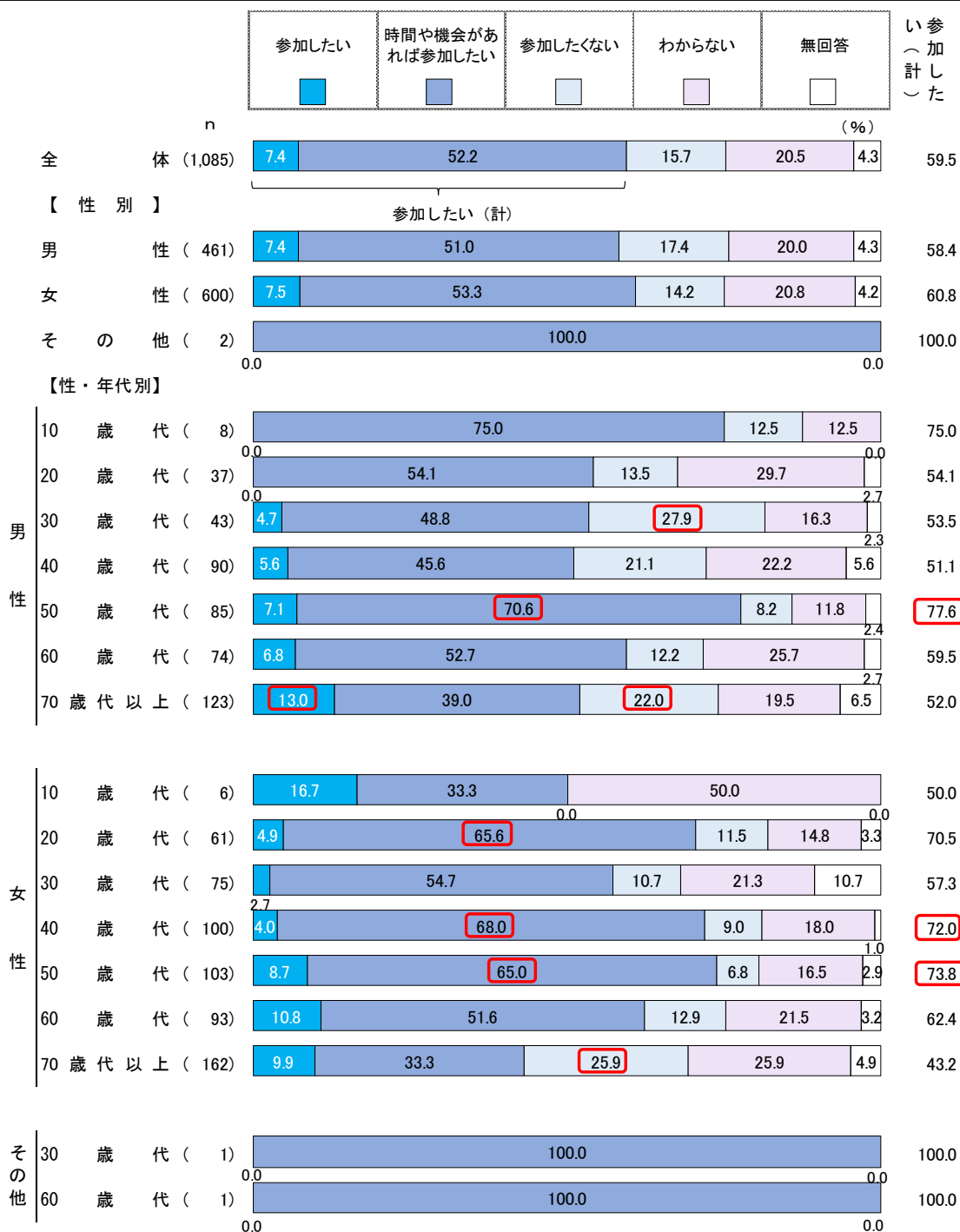
「地域活動・ボランティア活動に関する意識調査」 報告書の概要 No. 7

④ 参加意向【性別、性・年代別】

問 あなたは、今後、地域活動・ボランティア活動に参加したいですか。(単一回答)

性別で見ると、『参加したい(計)』は女性(60.8%)が男性(58.4%)より2.4ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『参加したい(計)』は男性50歳代で77.6%、女性50歳代で73.8%、女性40歳代で72.0%と高く、それぞれ有意差がみられた。「参加したい」は男性70歳代以上で13.0%と高く、有意差がみられた。「参加したくない」は男性30歳代で27.9%、女性70歳代以上で25.9%、男性70歳代以上で22.0%と高く、それぞれ有意差がみられた。

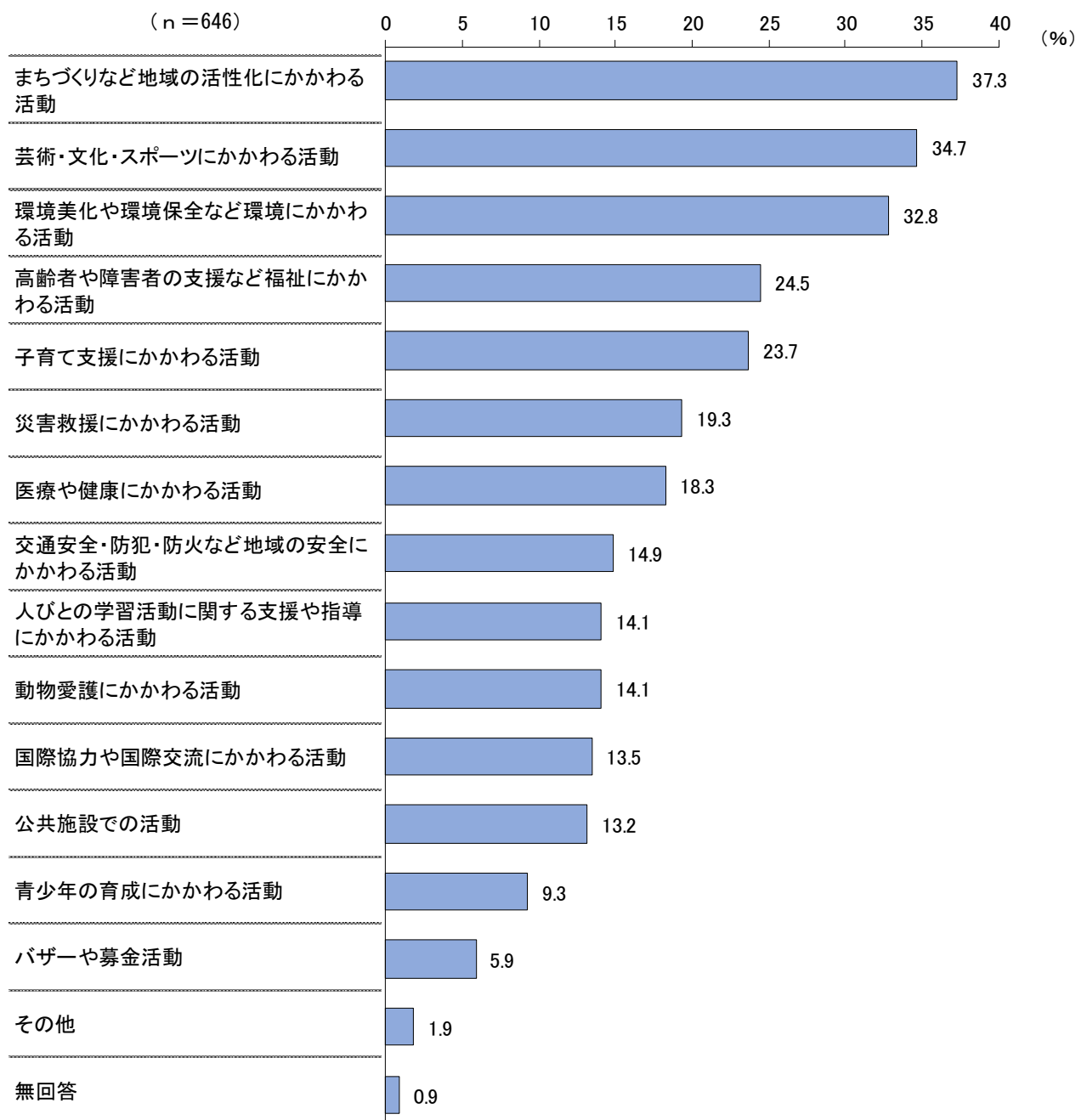


「地域活動・ボランティア活動に関する意識調査」 報告書の概要 No. 8

⑤ 今後参加したい活動【全体】

問 ④参加意向で「参加したい」「時間や機会があれば参加したい」とお答えの方におたずねします。あなたは、今後どのような活動に参加したいですか。（3つまで選択）

今後参加したい活動は、「まちづくりなど地域の活性化にかかわる活動」（37.3%）が最も高く、次いで「芸術・文化・スポーツにかかわる活動」（34.7%）、「環境美化や環境保全など環境にかかわる活動」（32.8%）と続いている。



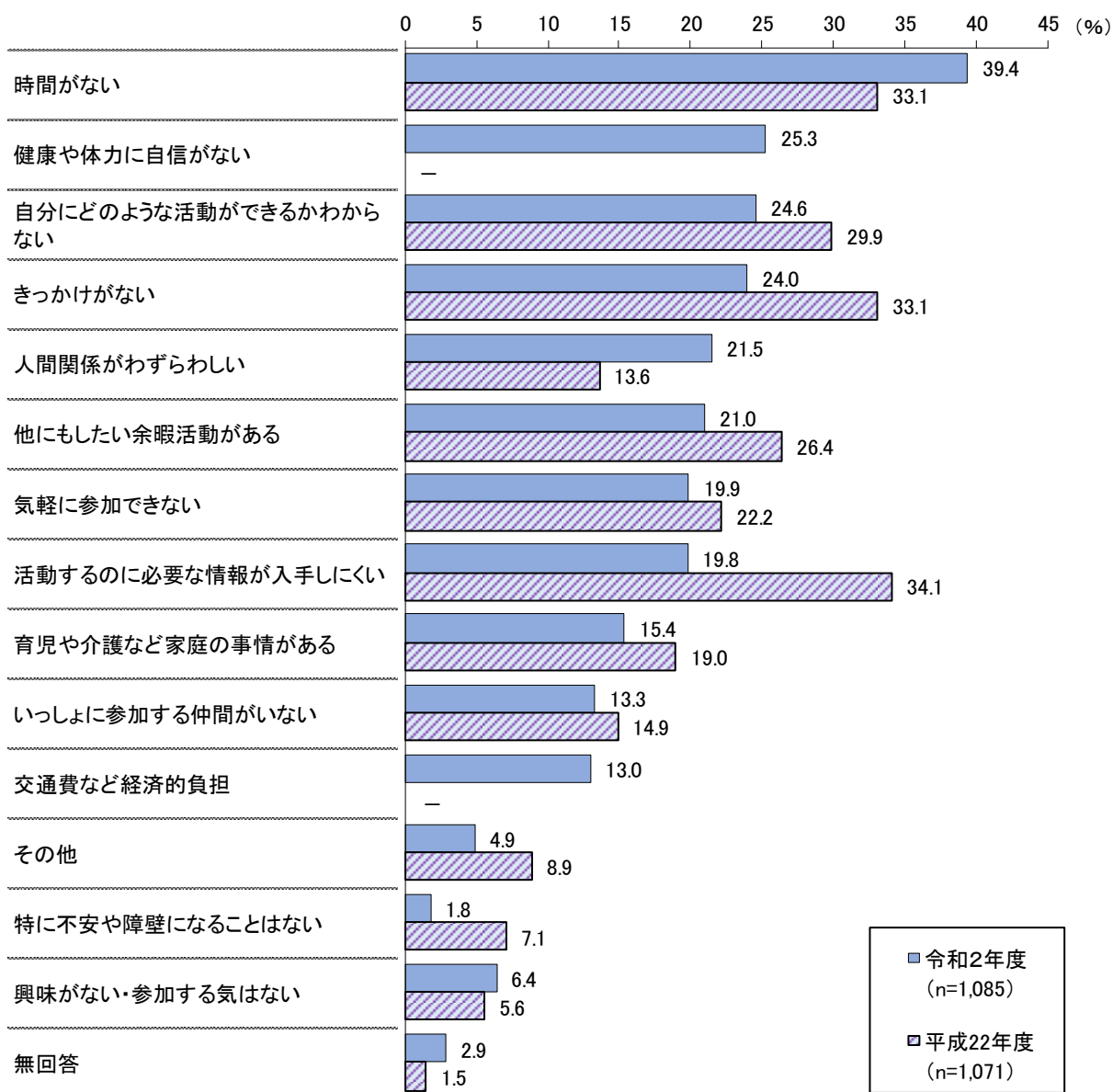
「地域活動・ボランティア活動に関する意識調査」 報告書の概要 No. 9

⑥ 活動への不安・障壁【全体】

問 あなたが地域活動・ボランティア活動に参加するにあたって、不安や障壁になることは何ですか。（3つまで選択）

活動への不安・障壁となることは、「時間がない」(39.4%)が最も高く、次いで「健康や体力に自信がない」(25.3%)、「自分にどのような活動ができるかわからない」(24.6%)と続いている。

前回調査と比べると、「人間関係がわずらわしい」は7.9ポイント増加している。一方、「活動するのに必要な情報が入手しにくい」は14.3ポイント、「きっかけがない」は9.1ポイント、それぞれ減少している。



注) 「健康や体力に自信がない」「交通費など経済的負担」は今回調査で追加された選択肢

「地域活動・ボランティア活動に関する意識調査」

報告書の概要 No. 10

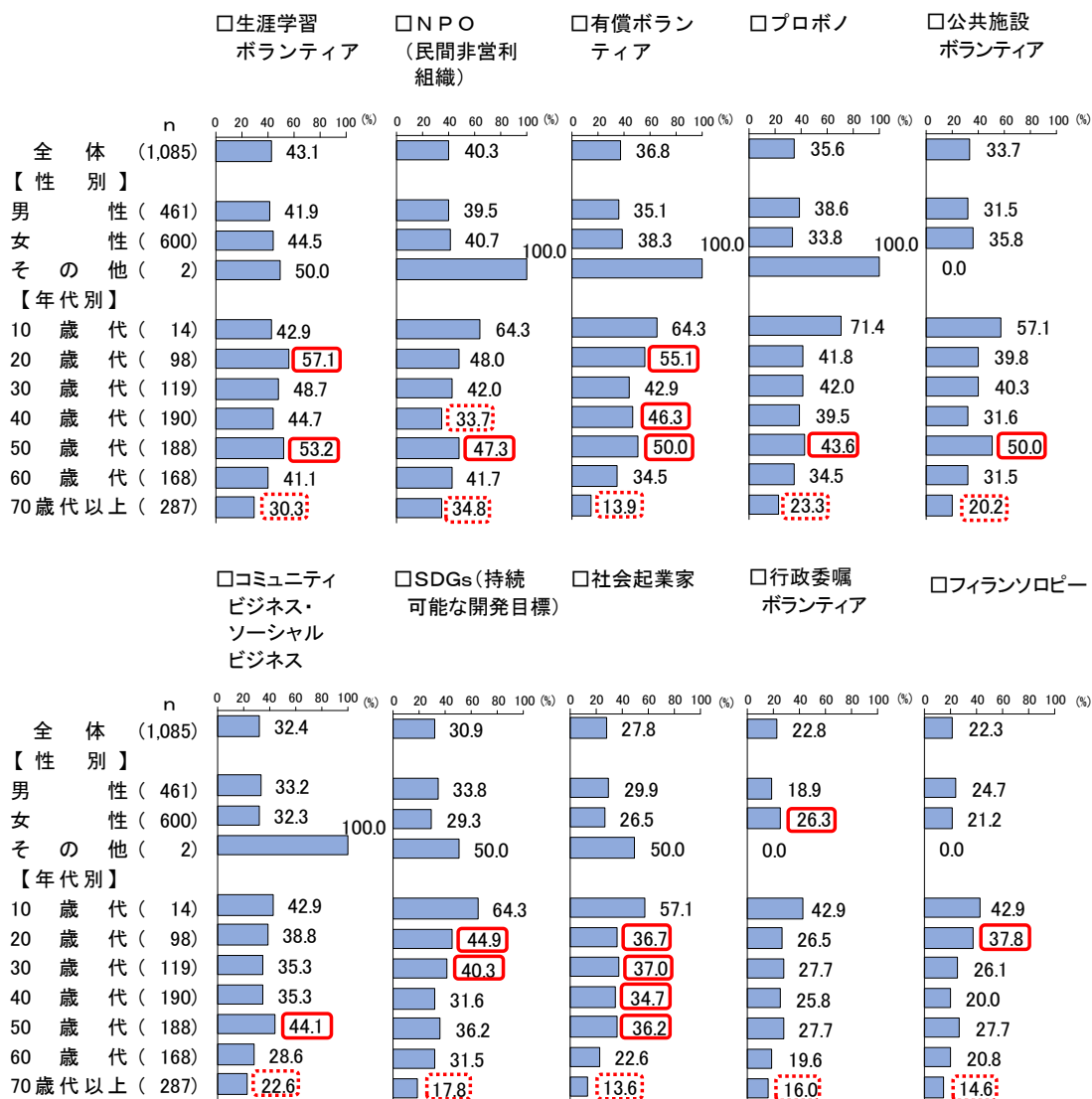
(3) 地域活動・ボランティア活動の推進について

① 組織活動への興味関心【性別、年代別】

問 あなたは、以下の組織や活動に興味がありますか。(単一回答)

『興味がある(計)』を性別で見ると、「生涯学習ボランティア」は女性(44.5%)が男性(41.9%)より2.6ポイント高く、「NPO」は、女性(40.7%)が男性(39.5%)より1.2ポイント高くなっている。「行政委嘱ボランティア」は、女性で26.3%と高く、有意差がみられた。

年代別で見ると、「生涯学習ボランティア」は20歳代で57.1%、50歳代で53.2%と高く、それぞれ有意差がみられた。「NPO」は50歳代で47.3%と高く、有意差がみられた。「有償ボランティア」は20歳代で55.1%、50歳代で50.0%、40歳代で46.3%と高く、それぞれ有意差がみられた。50歳代は10の組織のうち、7つで興味関心が高いという有意差がみられている。一方、70歳代以上は全ての組織で興味関心が低いという有意差がみられた。



注) は全体と比べ高い有意差、 は全体と比べ低い有意差

「地域活動・ボランティア活動に関する意識調査」

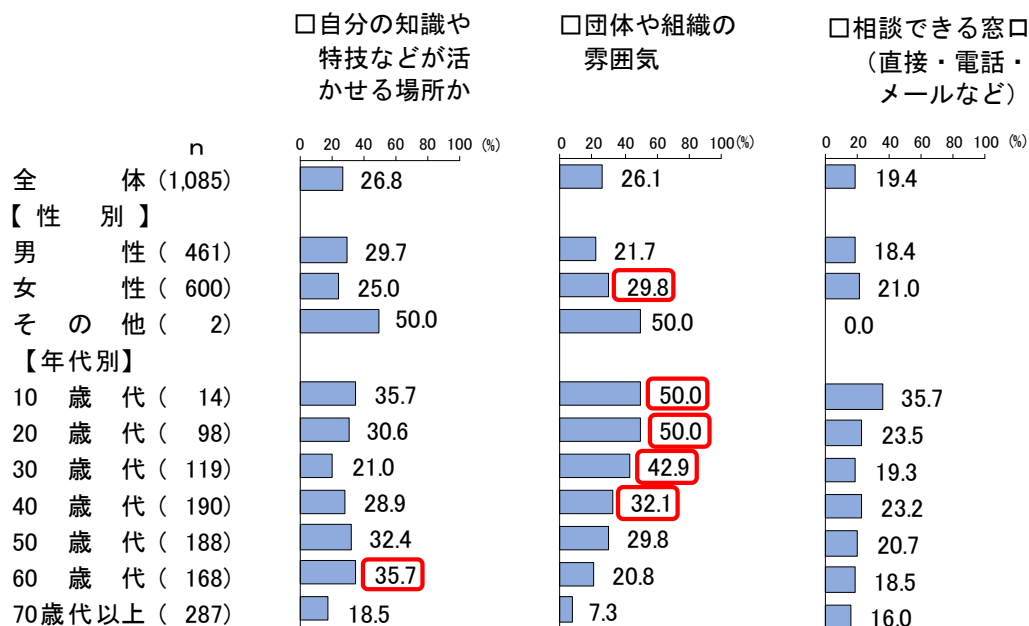
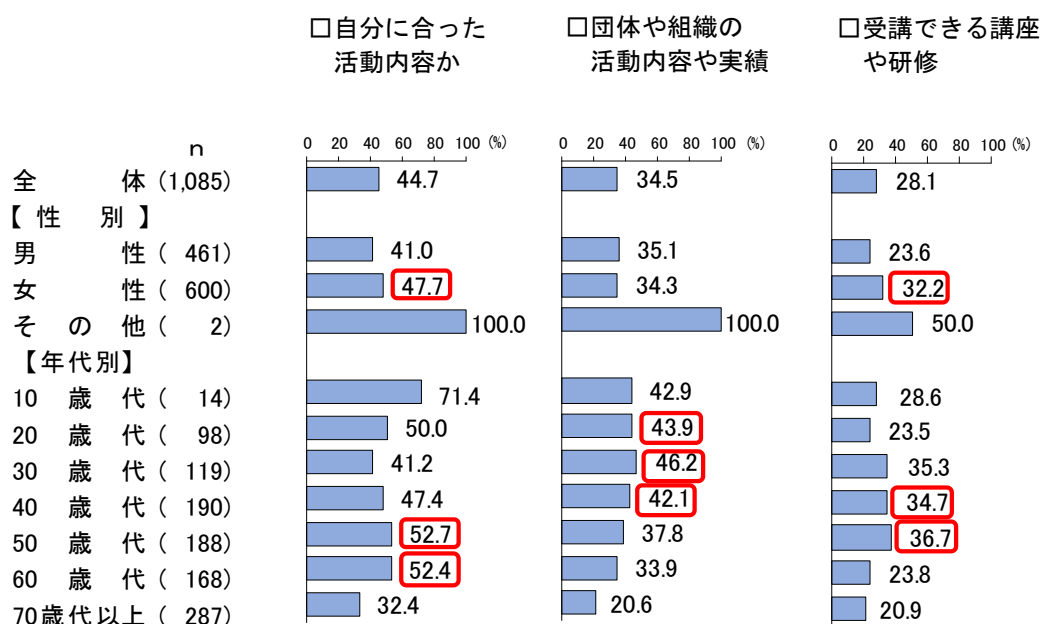
報告書の概要 No. 11

② 知りたい情報【性別、年代別】

問 あなたが地域活動・ボランティア活動について、知りたい情報は何ですか。（複数回答）

性別でみると、女性は「自分に合った活動内容か（47.7%）」、「受講できる講座や研修（32.2%）」、「団体や組織の雰囲気（29.8%）」で高く、有意差がみられた。

年代別でみると、「自分に合った活動内容か」は、50歳代で52.7%、60歳代で52.4%と高く、それぞれ有意差がみられた。「団体や組織の活動内容や実績」は、30歳代で46.2%、20歳代で43.9%、40歳代で42.1%と高く、それぞれ有意差がみられた。「受講できる講座や研修」は、50歳代で36.7%、40歳代で34.7%と高く、それぞれ有意差がみられた。



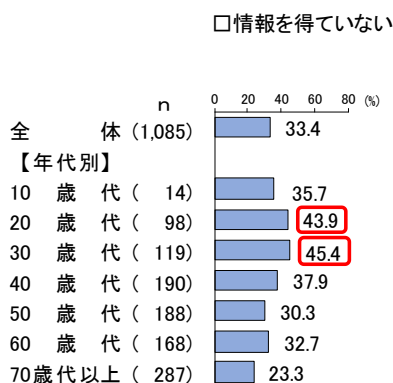
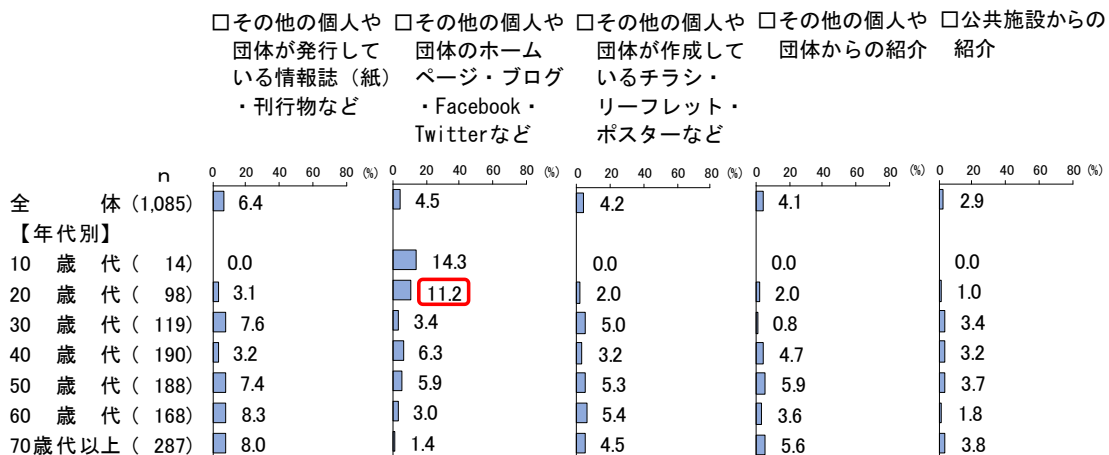
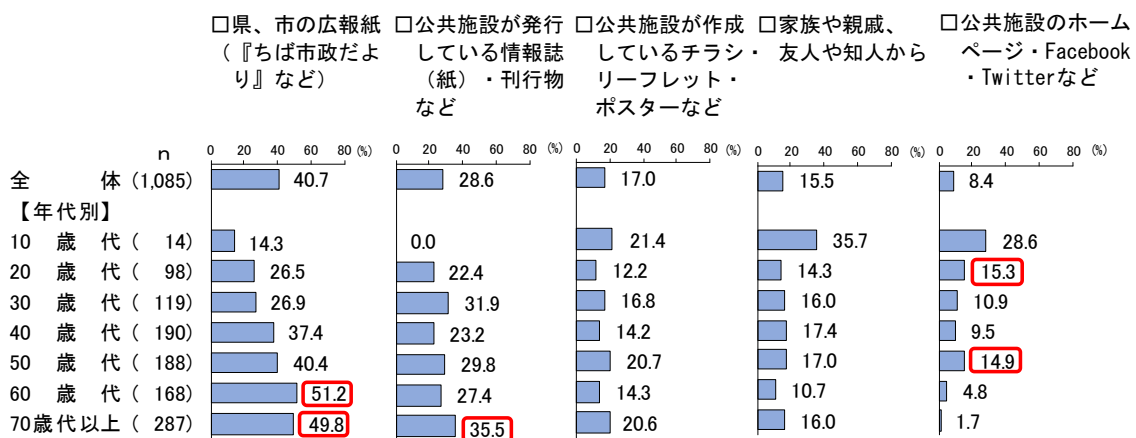
「地域活動・ボランティア活動に関する意識調査」

報告書の概要 No. 12

③ 情報入手先【年代別】

問 あなたは地域活動・ボランティア活動について、どのような方法で情報を得ていますか。（複数回答）

年代別でみると、「県、市の広報紙（『ちば市政だより』など）」は、60歳代で51.2%、70歳代以上で49.8%と高く、それぞれ有意差がみられた。「公共施設が発行している情報誌（紙）・刊行物など」は、70歳代以上で35.5%と高く、有意差がみられた。「公共施設のホームページ・Facebook・Twitterなど」は20歳代で15.3%、50歳代で14.9%と高く、それぞれ有意差がみられた。「情報を得ていない」は、30歳代で45.4%、20歳代で43.9%と高く、それぞれ有意差がみられた。



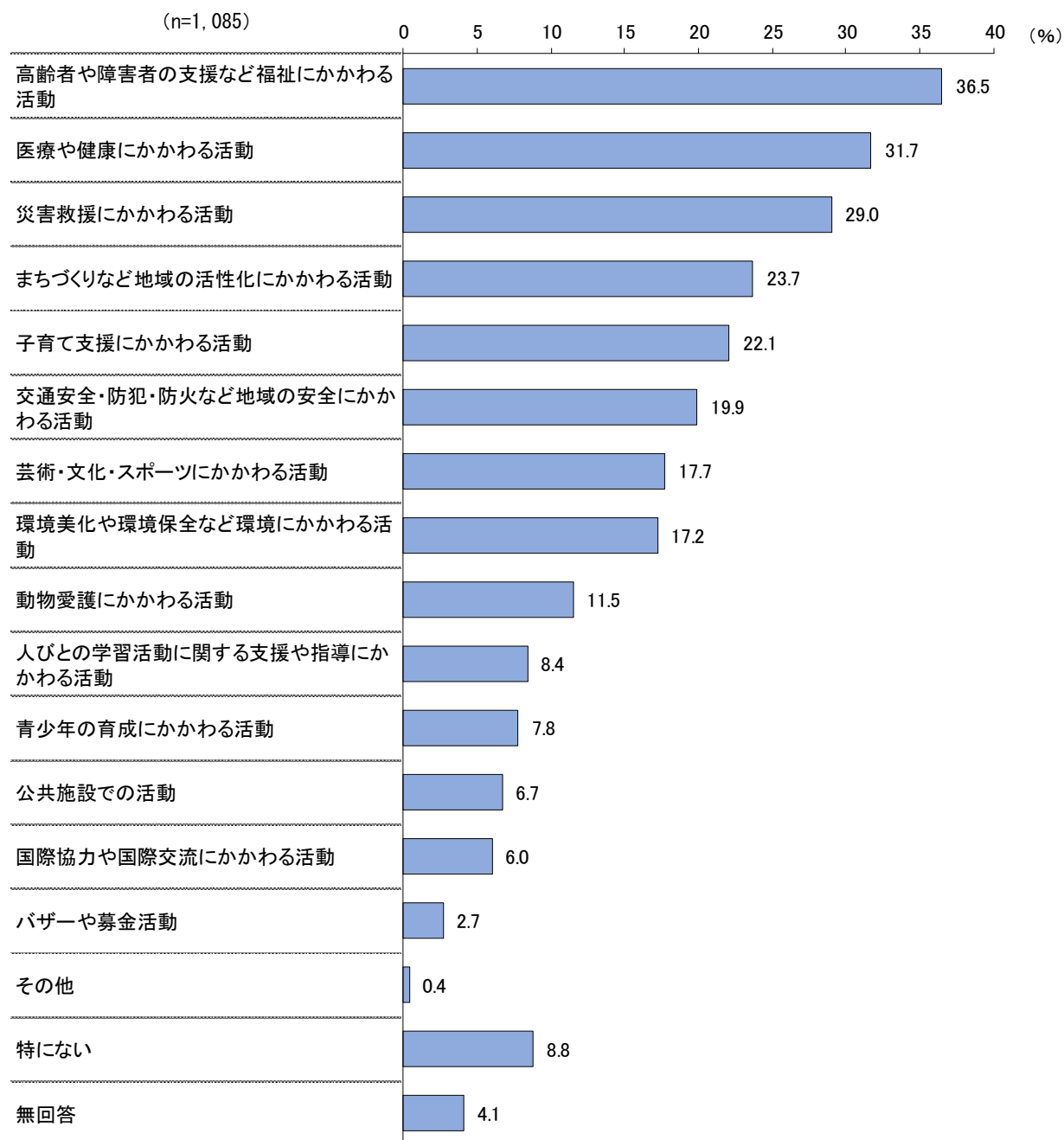
「地域活動・ボランティア活動に関する意識調査」

報告書の概要 No. 13

④ 推進してほしい地域活動・ボランティア活動【全体】

問 あなたが推進してほしいと思う地域活動・ボランティア活動は何ですか。（3つまで選択）

推進してほしい地域活動・ボランティア活動は、「高齢者や障害者の支援など福祉にかかわる活動」（36.5%）が最も高く、次いで「医療や健康にかかわる活動」（31.7%）、「災害救援にかかわる活動」（29.0%）と続いている。



「地域活動・ボランティア活動に関する意識調査」

報告書の概要 No. 14

⑤ 地域活動・ボランティア活動の活性化に必要なこと【全体】

問 あなたが地域活動・ボランティア活動について、活性化するために必要と考えることは何ですか。（3つまで選択）

地域活動・ボランティア活動の活性化に必要なことは、「ボランティア活動をしたい人と、お願いしたい人を結びつける仕組み」（53.5%）が最も高く、次いで「やりたいと思った時に相談にのってくれる窓口（直接・電話・メールなど）」（40.4%）、「学校や地域、施設でのボランティアの受入れをすすめていくこと」（23.6%）と続いている。

(n=1,085)

